



耳かけ形補聴器

ターン BTE

取り扱い説明書



ご使用前に必ずお読み下さい。

この度は、ベルトーン社製の補聴器をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

この説明書は、上手に装用していただくためのものです。必ずお読み下さいますようお願いいたします。特に下記のマークの部分は医療機器としての補聴器を、より適切かつ安全に使用していただくために大切な記述ですので、ご留意下さい。



警告



注意



禁止



指示

安全上のご注意

必ずお守り下さい。

- * ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読み下さい。
- * ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守り下さい。

次の区分は、表記内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。



警告 取扱いを誤った場合、「重症を負う可能性が想定される」内容



注意 取扱いを誤った場合、「障害を負う可能性が想定される場合及び物的障害のみの発生が想定される」内容

次の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。



禁止 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容



指示 この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容



警告

必要以上の過大音による聴取はさけて下さい。
過大音の長時間聴取は聴力低下を招く場合があります。



注意

補聴器は本人以外、絶対ご使用にならないで下さい。本人以外の使用については一切責任を負いかねます。



禁止

ご自分で補聴器を分解したり、修理、改造は絶対に行わないで下さい。(故障の場合は、お買い求めの販売店へご相談ください。)



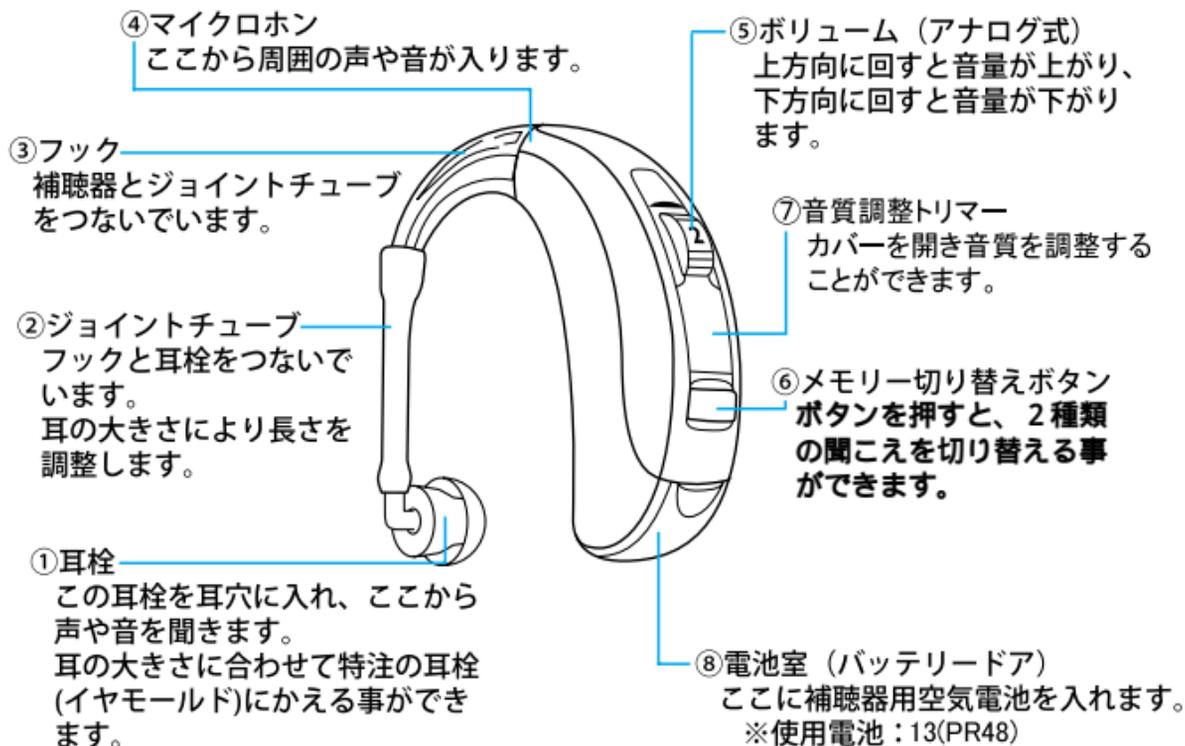
指示

補聴器を装用し聞こえの異常、耳の炎症や痛み、アレルギー反応などの異常が出た場合は、装用を一時中止し、購入店や耳鼻科医にご相談下さい。

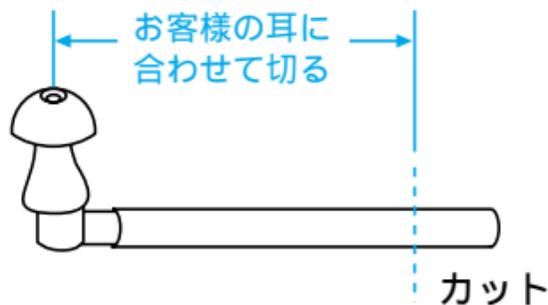
も く じ

I . 各部の名称と役割.....	1
II . 装用前の準備と装用.....	2
III . 操作方法.....	8
IV . 日常の手入れと留意点.....	18
V . 故障では？と思われたときは.....	22
VI . より良い聞こえと、快適な補聴器装用のために...	26
VII . 補聴器性能データ.....	30

I . 各部の名称と役割



Ⅱ . 装用前の準備と装用



指示

耳に“ピッタリ装着”
して下さい。



注意

チューブの長さが合
わないと落ちやすくな
ったり、ハウリング（ピ
ーピー音）の原因にな
ります。

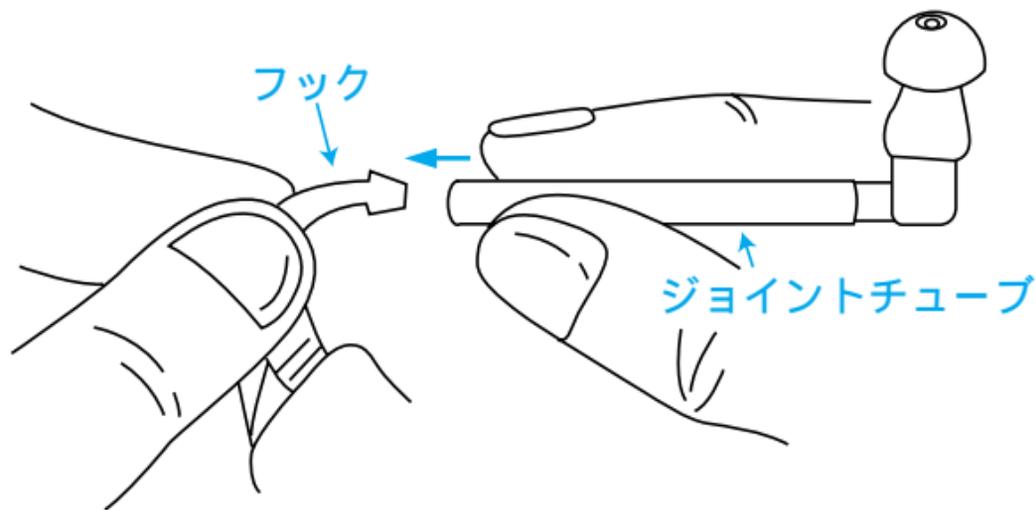
左耳使用



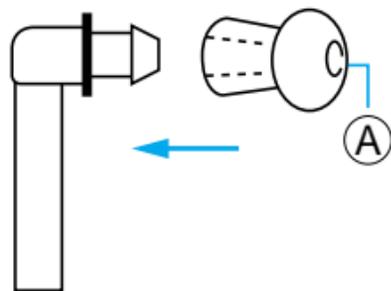
右耳使用



補聴器を耳にかけ、ジョイントチューブ（耳栓付）を装用者の耳に合わせて切り、下図のようにしっかりとフックにさし込んで下さい。

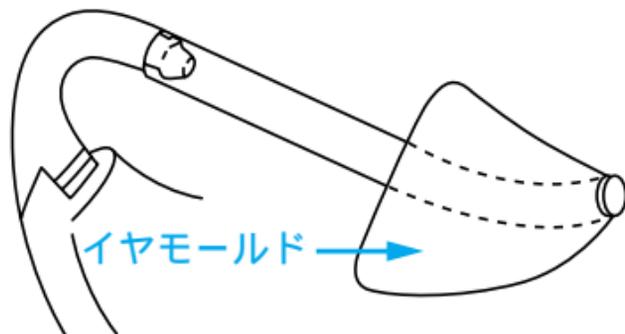


耳栓は、装用者の耳に合ったものを選んで使用して下さい。



耳栓が合わないと、ピーピー音がして聞きづらくなりますし、すぐはずれたりします。どうしても既製の耳栓で合わなければ、特別注文のイヤモールドをお作りになって下さい。

耳栓の穴①に耳あかが入りやすいので気を付けて、いつもキレイにしてご使用下さい。



イヤモールドの種類も数種類あります。くわしくは、購入店にお尋ね下さい。

イヤモールド（特別注文耳栓）



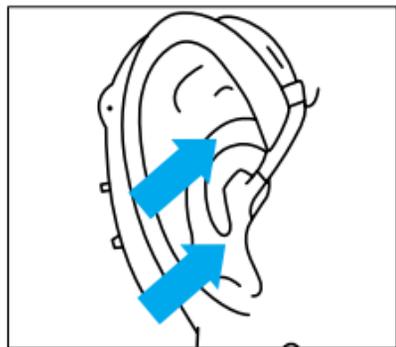
音漏れを防ぎ、音を効率的に聞くにはお客様の耳に合わせて作る特別注文耳栓（イヤモールド）をお勧めします。

耳にピッタリおさまり、はずれる心配がありません。



【補聴器の装用の仕方】

- 1．右図のように補聴器を耳の後ろ側に載せます。
- 2．イヤーマールドまたは耳栓を、優しく耳穴の中に入れます。

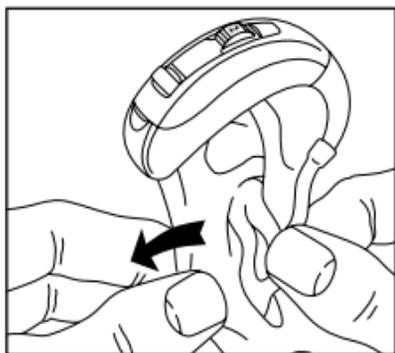
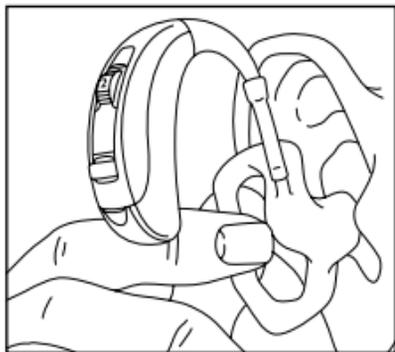


注意

補聴器を装用する時は、音量が必要以上に大きくないかご確認ください。必要以上に音量が大きいと、聴力低下を招く場合があります。

【補聴器の外し方】

1. 右上図のように、親指と人差し指でイヤーマールドや耳栓を優しくつまみます。
2. 次に右下図のように、補聴器装用側と反対の手で耳を押さえ、補聴器を顔側に前倒しにするように少し回しながら、耳穴からイヤーマールドまたは耳栓を引き抜き補聴器を耳から外します。



Ⅲ . 操作方法

1 . 使用する電池と準備

バッテリードアに補聴器用空気電池を入れます。

電池は13タイプを使用します。

注：電池は補聴器に入れる前に、シールをはがして下さい。
1分以上たつと正常に作動します。



【電池の入れ方および電池の交換方法】

ご使用前にバッテリードアの + 面と電池の + 面を合わせて電池を入れます。また、電池の寿命がきて、音が聞きにくくなったり、電池消耗のお知らせ音（ピーピー音）が鳴りましたら、新しい電池と交換して下さい。



電池を正しく挿入しないとバッテリードアは閉まりません。無理な力を加えると破損する場合があります。

電池交換の 手順

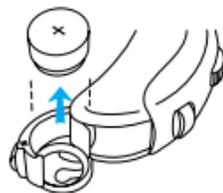


電池室を必要以上の角度まで、
強く開けないで下さい！

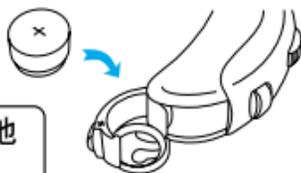
1. 電池室を
開ける



2. 電池を
はずす



3. 新しい電池
を入れる



4. 電池室を
閉める



補聴器をしばらく使用しない場合は、電池を本体
から取り出して下さい。

【電池の取り扱い上の注意事項】

- ①電池は補聴器用空気電池を正しくセットしてご使用下さい。
- ②電池が消耗すると補聴器の音量が低下します。この場合はすぐに新しい電池と交換して下さい。
- ③電池を保管する場合は腐食防止のため、必ず、補聴器から取り出しておいて下さい。
- ④電池はシールをはがした後は、直ちにご使用下さい。また、乾燥ケース内での保管は避けて下さい。空気電池の寿命が短くなる場合があります。



警告

誤飲事故を防止するために、電池は幼児の手の届かないところに保管して下さい。万一飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談して下さい。



禁止

補聴器用電池を火中に投げ捨てたり、再充電などすると爆発する場合があります、危険ですので、やめて下さい。



指示

電池を誤って飲み込んだ場合等の応急処置方法につきましては下記にご相談下さい。（有料）

つくば中毒110番 TEL 0990 - 529 - 899
9 : 00 ~ 17 : 00 (12 / 31 から 1 / 3 を除く)
大阪中毒110番 TEL 0990 - 502 - 499
年中無休

2. 電源の入れ方・切り方

電源は、下図①のように電池室をきちんと閉めた時に入（オン）の状態になります。切（オフ）にするには、②のように電池室を開いた状態にします。使用しない時は必ず切（オフ）にしておきます。



3 . 音量の調整について



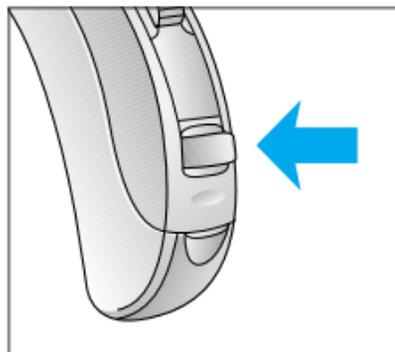
音量の調整は図のように、上につまみを回すと音量が増加します。下につまみを回すと音量が減少します。ボリュームの数字が大きくなると音量も大きくなります。

4 . メモリーボタンの操作方法

メモリーボタンを使用することにより、状況に応じた「2種類の聞こえ」を選択することができます。

メモリー 1 静かな環境下での聞こえ

メモリー 2 雑音下での聞こえ

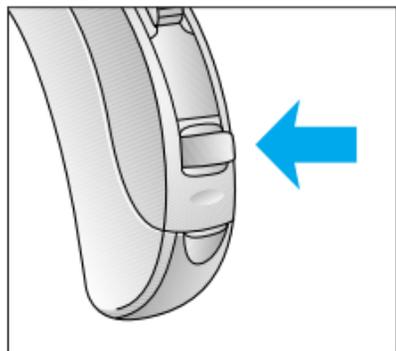


5 . ミュート機能について

本補聴器には、ミュート機能が装備されています。ミュート機能を作動させることで、補聴器から音を出さなくすることができます。

ミュート機能を作動させる：補聴器のメモリーボタンを長押しすると、電子音が『ピピピピピ』と5回鳴ります。これでミュート機能が作動します。

ミュート機能を解除する：補聴器のメモリーボタンを一度押します。遅延起動音が10秒鳴った後、通常通り補聴器を使用できるようになります。



【適切な音量調整の目安】

①片耳装用のとき

1 m 位離れたところから普通の声で話してもらいます。音の出る方に正しく身体を向けて、話し手のことばがちょうど良い大きさに聞こえるように調整してもらって下さい。

②両耳装用のとき

両耳に補聴器をつけるときは、聞こえの良い耳から先に、①と同様に音量調整をします。片方の調整が終わったら、同じ要領で反対の耳の補聴器を調整し、最後に左右の音の大きさのバランスをとります。

Ⅳ . 日常の手入れと留意点

補聴器は精密な電子医療機器です。

長期の使用に耐えられるように作られていますが、十分な性能を発揮するには、日常の手入れや取り扱いが大切です。

1 クリーニング

補聴器は毎日、柔らかな布かティッシュで拭いて下さい。



禁止

水や溶剤は機能を損ねるので使わないで下さい。

耳栓・チューブは汚れますので、耳栓の中に耳あかがたまっていないか点検して、掃除をして下さい。
耳栓・チューブが硬くなり、変色したら交換して下さい。

【補聴器のクリーニングとメンテナンス】

耳栓やイヤーマールドには耳あかがつまるところがありますので、つま楊枝やブラシなどで掃除をして下さい。耳栓は古くなり堅くなるなどしたら新しい耳栓と交換して下さい。

寒い時期になりますと、チューブの中に水滴がたまりやすくなりますので、ときどき点検して、もし入っていたらチューブをフックからはずし、水滴を完全に取ってご使用下さい。

2 留意点

- ①補聴器を使用しないときは、必ず電源を切り、しばらく使用しないときは、電池を外しておいて下さい。
- ②出来るだけ湿気をさけ、特に、梅雨時や夏期など湿気が多い時期や、補聴器を使用しない就寝時などに、バッテリードアを開け、電池を外した状態で補聴器だけを補聴器用乾燥ケースに入れておいて下さい。

- ③水中や堅いところに落下させたり、ヘアスプレーなどかけないように注意して下さい。
- ④ストーブの近くや、直射日光の強く当たる窓辺、車内での放置など、高温下や粉塵の多い所には、長時間の放置はしないで下さい。
- ⑤補聴器用電池以外は使用しないで下さい。
- ⑥強い電磁波の所では雑音が出る場合があります。
- ⑦使用済の電池は、各自治体で定められている通りに処分するか、購入店にお持ち込み下さい。

V . 故障では？と思われたときは

まず、次のようなチェックと簡単な処理をして下さい。

「音が入らない」

①電池切れではないか？

➡新しい指定の電池に正しく
入れ換えてみる。

②バッテリードアがきちんと閉まっていない、又は
音量が絞られていないか？

➡バッテリードアをきちんと閉め音量を必要な
だけ上げる。



- ③出音口、入音口の耳あかやゴミなどの
つまりでは？ ➡ブラッシング、掃除

「音が小さい」

- ①電池切れ寸前では？
➡電池チェッカーで確認。容量低下の
場合は、電池交換。
- ②出音口、入音口の耳あかやゴミなどの
つまりでは？ ➡ブラッシング、掃除
- ③聴力の低下では？
➡聴力測定を再度行い、聴力の変動は
ないか確認をする。

「音がとぎれる」「雑音」

①電池切れ寸前では？

➡電池交換

②接触不良では？

➡電池と電池接片の簡単な掃除、又は、購入店に相談する。

「ピーピー音（ハウリング）がする」

①耳栓又はイヤモールドが装用耳に、きちんと挿入されているか？

➡正しく挿入し直す。

②音量の上げ過ぎでは？

➡音量を適切に調整する。

「密閉感があり、自分の声が響く」

①初めての装用での不慣れでは？

➡装用感覚と聞こえの練習をする。

「耳の中が痛くなる」

①装用方法は適切か？

➡耳栓・イヤモールドを正しく挿入し直す。

②イヤモールドの形に問題がありそう？

➡購入店に相談する。

Ⅵ . より良い聞こえと、 快適な補聴器装用のために

初めて補聴器を使用される場合は、まず補聴器の使い方と、“聞こえ”になれることが大切です。

次に練習要領を参考に、最初は音量を少し小さめに、練習時間も1時間以内位から始めて、少しずつ補聴器の聞こえに10日～3カ月位（個人差あり）を目安にならしていきます。

【聞こえの練習要領】

① 静かな場所で周囲の物音を聞く。



② ひとり言や本の朗読をゆっくりとして自分の声を聞く。

③ 静かな場所で身近な人と、1対1の会話を
する。相手にはゆっくりはっきり話して
もらいます。



- ④ 静かな場所で3～5人位の
人と会話する。誰が話して
いるか注意しながら、聞く
ようにします。



- ⑤ TVやラジオを聞く。普通の音量で、
ニュースなどを聞いてみます。



- ⑥ 会話の聴取にも慣れたら、
日常生活の様々な場所で使
ってみます。



日常会話の理解をさらに高めるには？

視覚も十分に活用しよう！

話し手の口元や表情を注意しながら聴取すると、会話の理解が楽になります。

周囲の人の理解と協力を得よう！

自然の声の大きさと、はっきり、少しゆっくりと、ていねいに話してもらい、分かりにくいときは言い回しを替えて話してもらいましょう。

両耳に装用しよう！

音の方向感や騒音下での会話聴取能力が向上します。又、両耳加算効果で音量に少し余裕ができ、耳にやさしい聞こえが得られます。

VII. 補聴器性能データ

【補聴器性能表】

入力音の入射方向 = 垂直

本データは JIS C5512 - 2000に基づいて測定表示されています。

本仕様は改良のため断りなく変更する場合があります。

実際の電池寿命は使用環境に影響されます。

規準周波数はすべて1,600Hz です。

ターン BTE 75

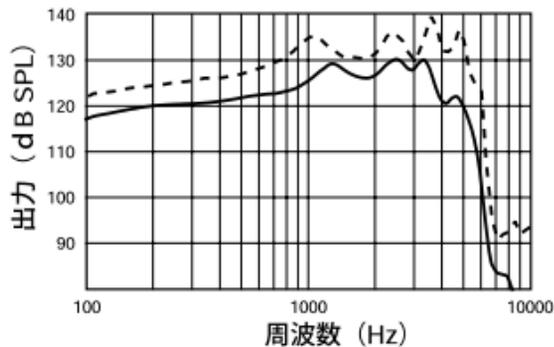
販 売 名	Turn (ターン) BTE
一 般 的 名 称	耳かけ型補聴器
区 分	管理医療機器
使 用 電 池	空気電池 PR48(13)1.4V
電 池 の 電 流	1.4mA 以下
90 dB 最大出力 音 圧 レ ベ ル	500Hz : 120 ± 5 dB SPL 1600Hz : 124 ± 5 dB SPL ピーク値 : 134dB SPL 以下
最大音響利得 (60dB SPL入力時)	48 ± 5 dB
全 高 調 波 歪	500Hz : 5.0%以下 800Hz : 5.0%以下 1600Hz : 5.0%以下
等価入力雑音レベル	42dB 以下
電 池 寿 命	315時間

ターン BTE 85パワー

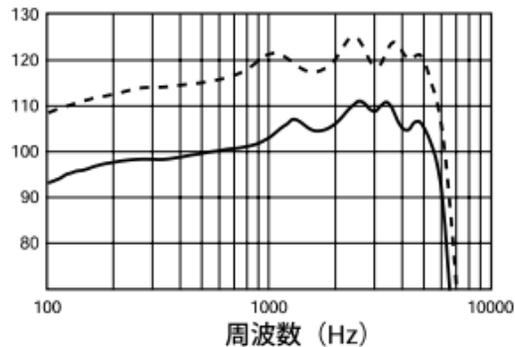
販 売 名	Turn (ターン) BTE
一 般 的 名 称	耳かけ型補聴器
区 分	管理医療機器
使 用 電 池	空気電池 PR48(13)1.4V
電 池 の 電 流	1.4mA 以下
90 dB 最大出力 音 圧 レ ベ ル	500Hz : 126 ± 5 dB SPL 1600Hz : 131 ± 5 dB SPL ピーク値 : 141dB SPL 以下
最大音響利得 (60dB SPL入力時)	58 ± 5 dB
全 高 調 波 歪	500Hz : 5.0% 以下 800Hz : 5.0% 以下 1600Hz : 5.0% 以下
等価入力雑音レベル	45dB 以下
電 池 寿 命	293時間

【周波数レスポンス】

90dB入力最大出力レスポンス



規準周波数レスポンス



—— ターン BTE 75
- - - ターン BTE 85 パワー

【各調整器の変化特性】

〔LFC：音質調整器〕

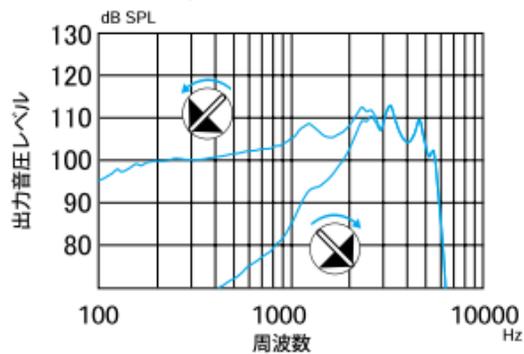
低音域（特に250・500Hz）を抑制し、聴こえに応じた音質に調整したり、低音域の騒音を軽減します。低音域を抑制して音質の明瞭感を得たいとき、低音域の聴力が比較的に良好で環境騒音を軽減したいときに効果的です。

緑

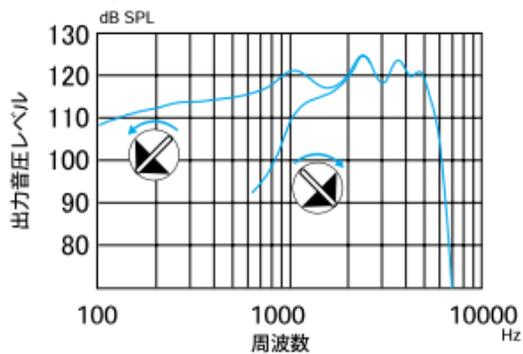


・ 矢印方向に回すと制限されます

ターン BTE 75



ターン BTE 85 パワー



〔MPO：出力制限器〕

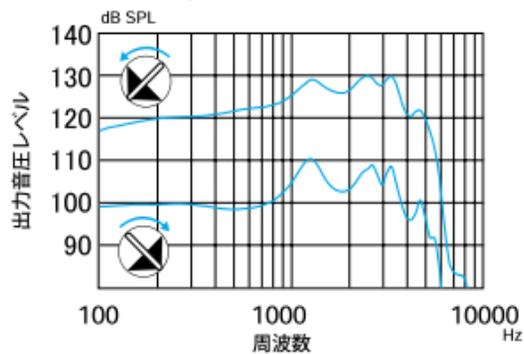
不必要な大きな音が出ないように出力を制限し、装用者の不快レベル以下にします。不快レベルが特に低い感音性難聴や、聴力・不快レベルの変動が比較的大きい場合に、最大出力レベルを抑制します。

黒

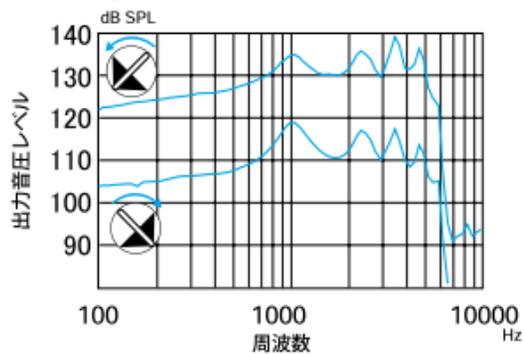


・矢印方向に回すと制限されます

ターン BTE 75



ターン BTE 85 パワー



「あなたの補聴器」

器 種：

器 械 番 号：

電池の種類：

特 記 事 項：

購入店

N J H

ニュージャパンヒヤリングエイド株式会社
(ベルトーン輸入総代理店販売元)

東京本社 / 〒162 - 0825 東京都新宿区神楽坂 4 - 5 - 1
TEL 03(3269)4133(代) FAX 03(3269)4633
ホームページ <http://www.njha.co.jp>

支社 / 大阪・福岡・名古屋 営業所 / 札幌・仙台・松山・広島・熊本・鹿児島

許可番号 13B2X00173 13BZ005028 27BZ200116 40BZ200032

印刷23年 9月

S - 11090392 - 2000